

疫病に立ち向かう

— 奪われしもの、生まれしもの —

2021 4/1 thu ~ 5/16 sun

休館：日曜・祝日（ただし4/29, 5/9, 5/16は特別開館します）

会場：関西大学博物館特別展示室

入館料：無料

開館時間：10:00～16:00（入館は15:30まで）

※12:00～13:30の間は換気・消毒のため入館できません。

主催：関西大学博物館

協力：関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（KU-ORCAS）

関連催事：

関西大学博物館ミュージアム講座「疫病に立ち向かう—奪われしもの、生まれしもの—」

講師 / 西本昌弘（関西大学博物館長・文学部教授）

日程 / 2021年4月24日（土）

時間 / 13:30～15:00

会場 / 関西大学博物館



笹野一刀彫（蘇民将来）

木の葎

高松の奉公さん

2021 年度関西大学博物館春季企画展 疫病に立ち向かう—奪われしもの、生まれしもの—

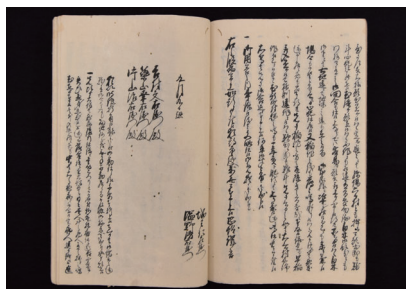
現在、新型コロナウイルスの蔓延により、日本を含めて世界各国で多くの感染者・死者が発生し、人々はマスクの着用や外出自粛などの新しい生活習慣での暮らしを求められています。

日本は、このような疫病（感染症）に度々襲われてきました。記録を読むと、疫病によって多くの命が奪われつつも、人びとは神仏に祈り、新たな生活習慣を生み出し、疫病に立ち向かってきたことがわかります。また、明治時代以降、科学的根拠に基づいた治療や衛生・予防も積極的に導入し、疫病を乗り越えようとしてきました。このように先人たちが疫病を乗り越えるために行ったり、生み出した習慣や教訓などが、現在の私たちの生活や文化の一部になっているものも少なくありません。

本展示会では、日本で起きた疫病（天然痘、コレラ、スペイン風邪など）に関する文献や絵画資料などを展示いたします。

100年に一度といわれる未曾有の危機のなかで、皆さんの日々の記録とこの時代を生きたものの記憶を次世代へと伝えていく機会となりましたら幸いです。

主な展示資料



江戸表江之御用状控(関西大学博物館蔵)



菅橋彦「職業婦人絵巻」部分(関西大学博物館蔵)



内藤湖南旧蔵張り子のトラ(関西大学博物館蔵)

関連催事 関西大学博物館ミュージアム講座

「疫病に立ち向かう—奪われしもの、生まれしもの—」

日時／2021年4月24日(土)13:30～15:00

会場／関西大学博物館

講師／西本昌弘(関西大学博物館長・文学部教授)

参加無料(要事前申込)

参加を希望される方は件名を「ミュージアム講座申込み」とし、

①名前(漢字・ふりがな)②連絡先(電話番号・E-mailアドレス)を記入のうえ、E-mailもしくは往復はがき(返信先住所記入のこと)にてお申込みください。

■個人情報、本講演会にのみ使用させていただきます。

関西大学アジア・オープン・リサーチセンター (KU-ORCAS) による新型コロナウイルスに関するデジタルアーカイブ「コロナアーカイブ@関西大学」からの画像と投稿も一部ご紹介いたします。

関西大学コロナアーカイブ 2020 :
<https://www.annex.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/s/covid19archive/page/covidmemory>

関西大学博物館

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928

E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止のご理解とご協力をお願い

- ・体調不良もしくは発熱のいずれかの症状がある場合は、入館をご遠慮ください。
- ・館内定員30名を超える場合は、入館をお断りするか入館まで時間がかかる場合があります。
- ・入館時は、必ずマスクを着用してください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の状況によってはやむを得ず臨時休館、もしくは本展催事を中止させていただくことがあります。
- ・最新の情報は、博物館ホームページをご確認ください。

